

豊岡市障害者自立支援協議会

部会長: 増田 浩平 (NPO法人でかけ隊)

池田美和子 (豊岡市社会福祉協議会)

谷 友紀子 (生活支援センターほおずき)

中奥みゆき (生活支援センターほおずき)

畑中由希子 (相談スペース ポッシュ)

福井真悠子 (とよおか福祉会)

梶原 博和 (社会福祉課)

大岸 和義 (社会福祉課)

松岡 宏幸 (社会福祉課)

中村 宏子 (そらのおと)

古谷 栄美子 (但馬訪問看護相談支援事業所)

金海 太一 (出石精和園)

久田 成人 (すきっぷ)

谷口 佳子 (サポートきぼう)

狩野 明香 (日高共同作業所)

西池 深音 (豊岡市社会福祉協議会)

小谷 弘幸 (北但広域療育センター)

木村 尚子 (の〜ら)

川崎 彩 (高年介護課)

せいかつ部会

障がいがあっても一人で生きていける地域を作る。

一人暮らしプロジェクトチーム

成年後見プロジェクトチーム

2024年度 後期の取り組み

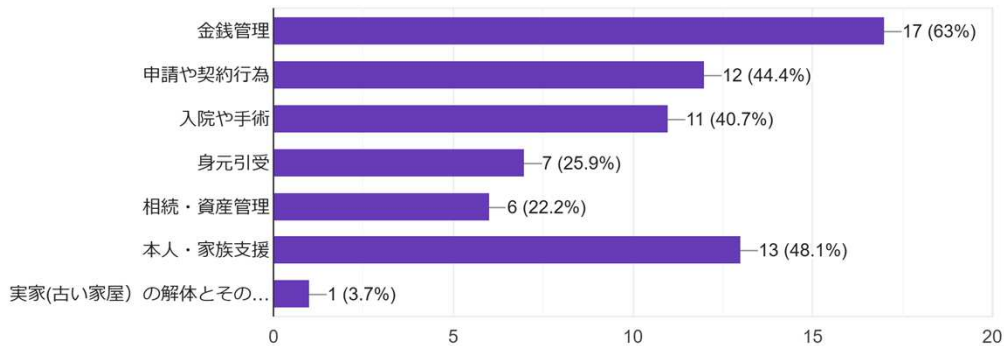
- ① 成年後見プロジェクトチーム
市内相談支援事業所、相談支援専門員にアンケートを実施
困りごと解決フローチャートを作成
後見人・権利擁護センターへ期待する機能の抽出
- ② 一人暮らしプロジェクトチーム
一人暮らしおためしハウス（仮）の検討
市内相談支援専門員、グループホーム職員を参集し、
「一人暮らしの可能性を探ろう！交流会」を開催（R6/10/30）
グループホーム関係者の交流会を実施（R6/10/30）（R7/1/29）

○成年後見プロジェクトチーム

★地域で活躍されている相談支援専門員へのアンケート結果を集計

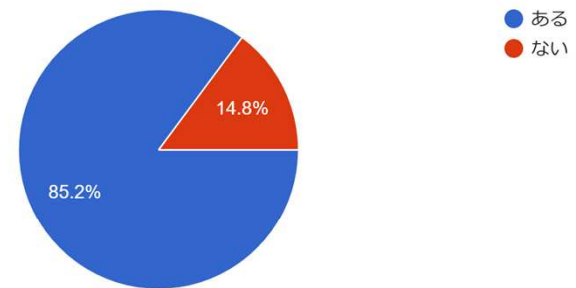
問 1 対応に困ったケース

27 件の回答



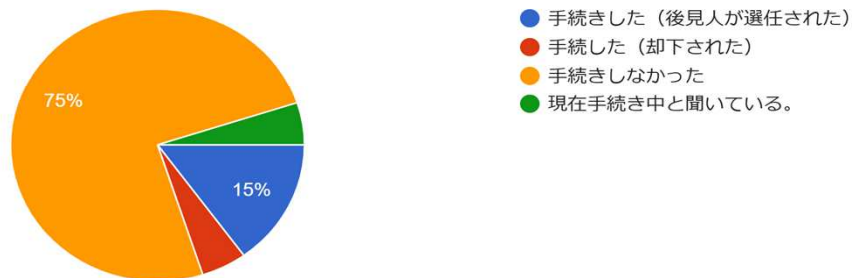
問 2 (1) 後見人が必要と思ったことや関係機関が必要と言われたことがある。

27 件の回答



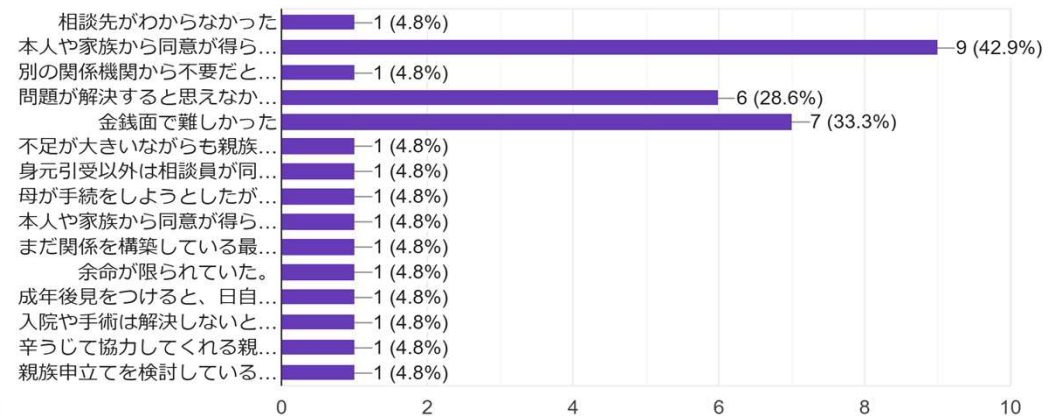
問 2 (3) 検討の結果、成年後見人の手続きをしたか

20 件の回答



問 2 (4) 検討・手続きしなかった理由

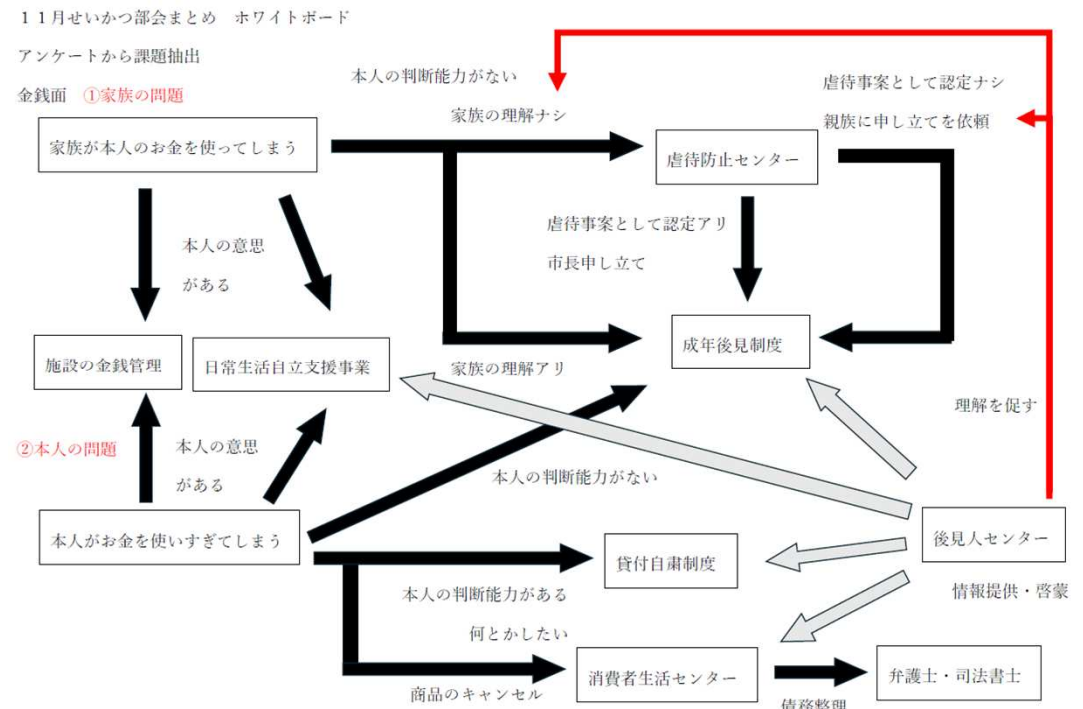
21 件の回答



○権利擁護のプロジェクトチーム

★後見人・権利擁護センターに期待する役割

「成年後見制度への理解を促すこと」
「様々な機関のコーディネート機能」
「意思決定支援会議の招集」
○特に医療同意についての中で本人の意思とニーズの乖離がある。支援者が医療同意を行うリスクについても話し合われ、「意思決定支援会議」の重要性と必要性は早急に解決する問題ではないかとの意見を受け、後見人・権利擁護センターが中心となり、個別支援会議やケースカンファレンスにおいて、本人と支援者の意思決定におけるコンセンサスを作る必要があるという意見が出た。



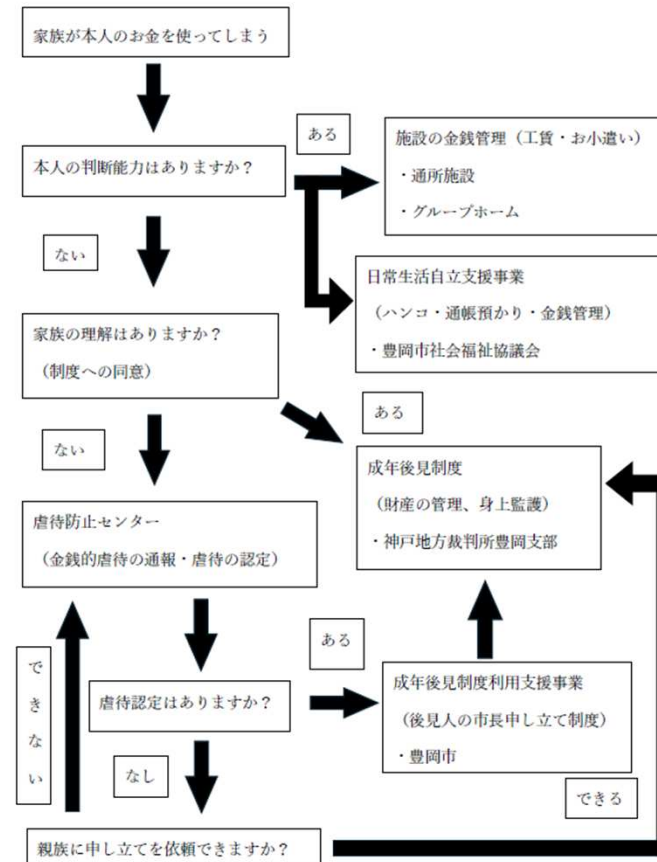
○権利擁護のプロジェクトチーム

★「問題が解決すると思わなかった」
という意見を受け、現在の社会資源では解決できない問題を洗い出すためにフローチャートを作成。

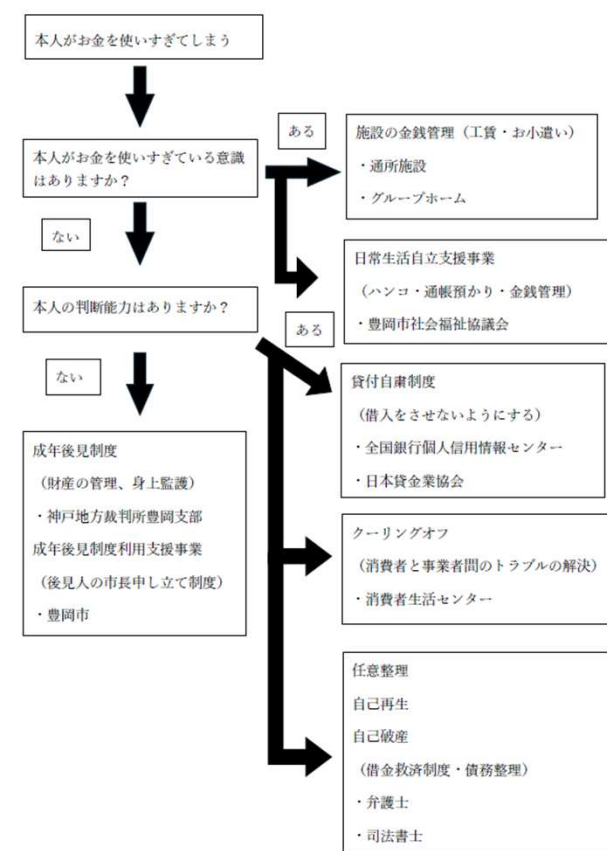
★障害福祉に関わる人たちが困った時のヒントになるようにホームページなどに掲載し、活用してもらえるようにしていきたい。

作成したフローチャート

金銭面（家族がお金をつかってしまう）フローチャート



金銭面（本人がお金をつかってしまう）フローチャート



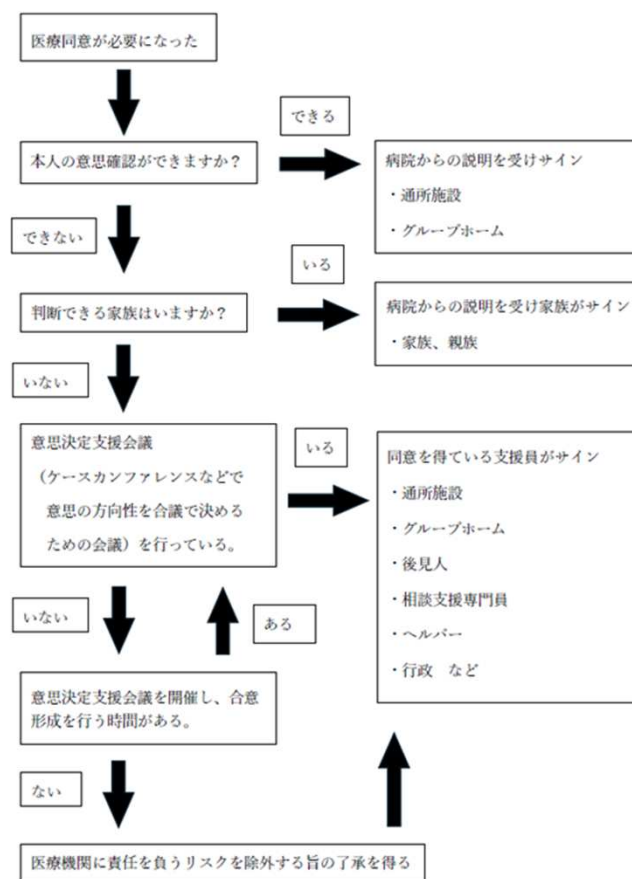
○権利擁護のプロジェクトチーム

★医療同意や身元保証に関しては
後見人が行うことができない可能性が
あることも分かった。身元保証業という
ものがあり、その契約に後見人が必要
となる。

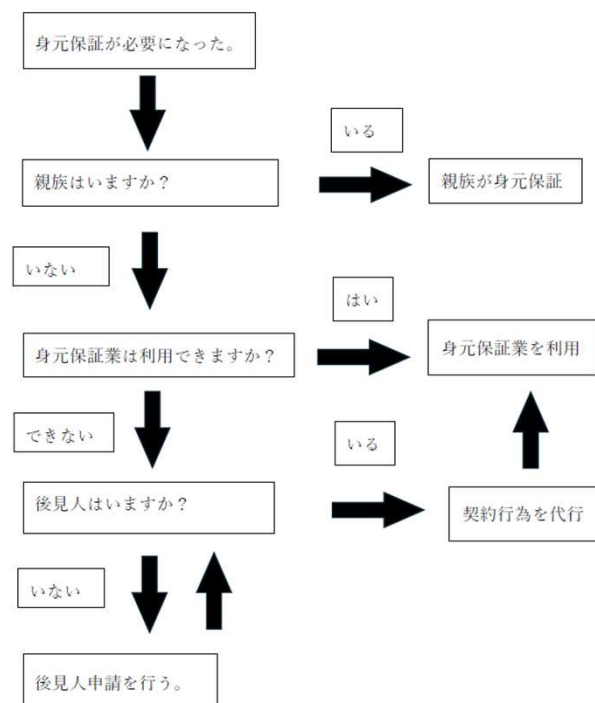
★成年後見制度だけでは解決できない問題
も出てくる中で、センター機能に求めるもの
を検討していくことになった。

作成したフローチャート

医療同意フローチャート



身元保証フローチャート



○権利擁護のプロジェクトチーム



★今年度の取り組み

- ・フローチャートを作成し、ホームページに掲載。→ はっしん部会と連携
- ・啓発に向けたシンポジウムの開催の検討。
- ・成年後見制度を充実させるためのセンターやそのセンター機能について提言を行う。



地域で安心して生活して
もらいたいを実現します！

○お試しハウスプロジェクトチーム

- ・GHの方に短期間、一人暮らしを体験できる方法を検討

★GHの方々（スタッフや利用者さん）が何を感じているのか知りたい！



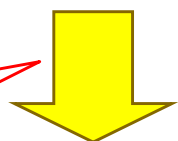
GHの管理者・サビ管の集いを開催！R6/10/30・・・

こういう集まりが
時々したいなあ



プロジェクトチームが考える「おためしハウス」構想に対する意見や望ましいあり方など話し合っていたいた。

さらに！！



参加された支援者の協力を得て、一人暮らしをする力があると思込める方や一人暮らしを希望している方（主にグループホーム利用者）を対象に、一人暮らしについて感じている不安・困りごとについてアンケートを実施。

○お試しハウスプロジェクトチーム

参加された支援者の協力を得て、一人暮らしをする力があると見込める方や一人暮らしを希望している方（主にグループホーム利用者）を対象に、一人暮らしについて感じている不安・困りごとについてアンケートを実施。

右記のような意見が出た。

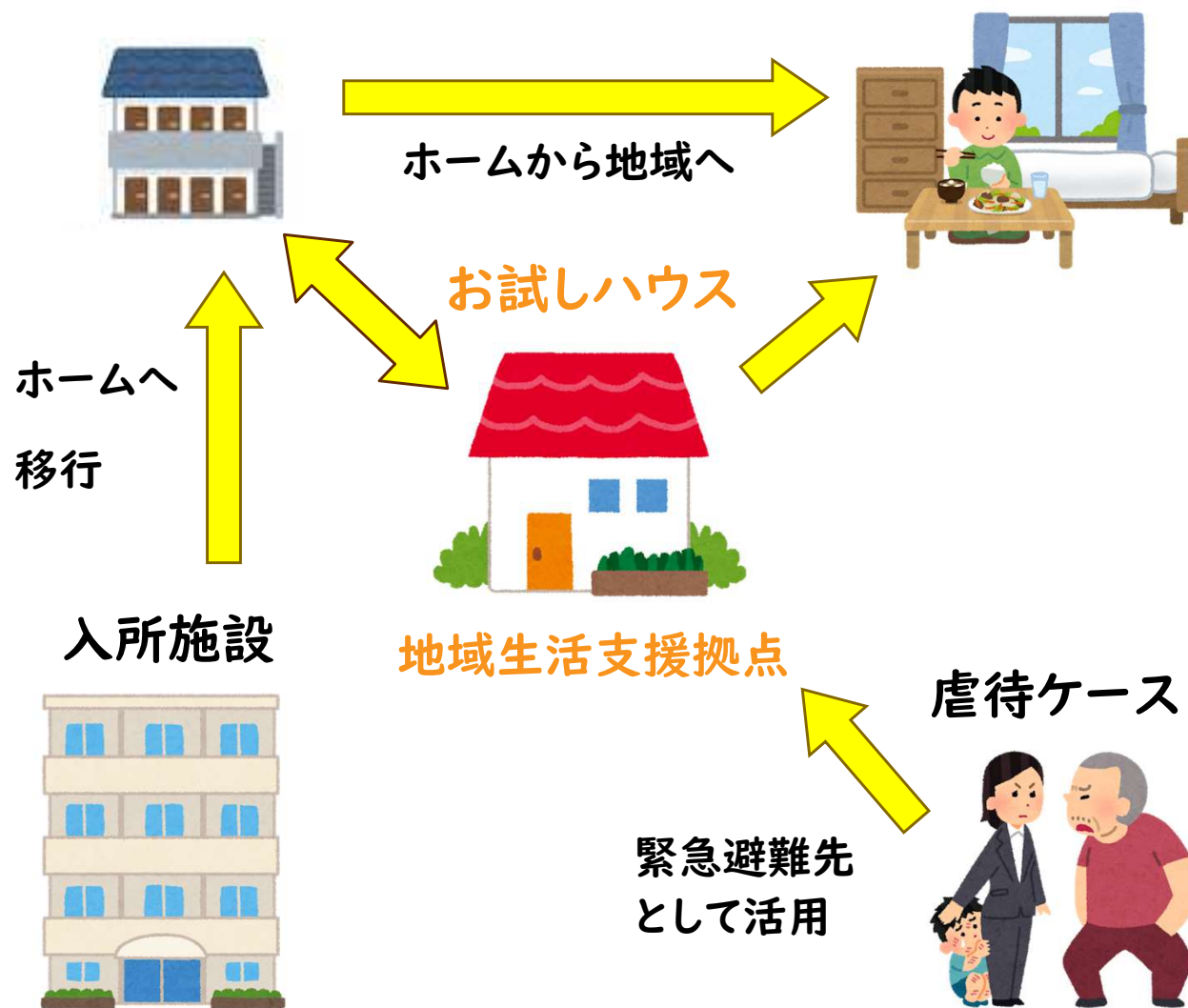
- 金銭面、食事・服薬・家事等の日常生活、移動手段などの課題が見えた。又、一人暮らしを体験する場があれば「利用したい（してもらいたい）」という意見が多数あった。
- 一人暮らしの体験自体は、民間のウィークリーマンションのような場で可能かも知れない。
- 主な収入が障害年金である人にとっては金銭的負担を考慮する必要がある。
- グループホームに籍をおきながら体験を可能にしたい。
- なるべく家賃負担が少ない住居の確保が必要なためには民間、市営・県営の住宅を含めて検討する必要がある。
- 「おためしハウス」でも必要に応じて居宅介護サービス（ヘルパー）も利用できるような仕組みが欲しい。

○お試しハウスプロジェクトチーム アンケートを受けて。

一人暮らし体験の場のみならず、虐待問題ケースがあった場合の一時的な避難場所としても活用できるような仕組みづくりが必要であり、地域生活支援拠点整備の観点からも大変重要だと考えられる。グループホームが自立支援加算の対象となる支援（利用者の希望に基づきアセスメントを行い、一人暮らしに向けた個別支援計画をたてる等）を積極的に行い、グループホームから一人暮らしへの移行が進んでいく。ひいては、その流れが入所施設からグループホームへの地域移行を促進することにもなると考えられるなどの意見が出た。

グループホーム

一人暮らし



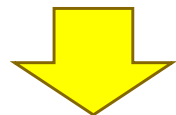
○お試しハウスプロジェクトチーム

- ・GHの関係者で集まりたい!という声を受けて
-

★GH関係者のつどいR6/1/29



令和7年度より各グループホームにおいて義務化される「地域連携推進会議について」意見交換がなされた。
年に1回くらいは地域のGH関係者が集まって現状を報告できると嬉しいなどの意見がでる。

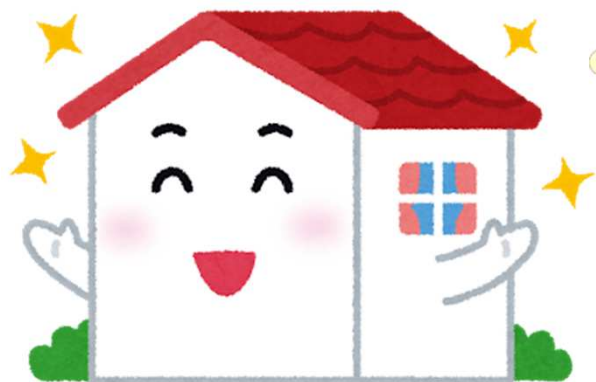


今後、この会の持ち方についてはせいかつ部会で検討をしていく。

○お試しハウスプロジェクトチーム

★今年度の取り組み

- ・グループ内の意見の調整と当事者への聞き取りや情報整理。
- ・グループホームの制度とお試しハウスの差別化をどう図るのかの検討。
- ・お試しハウス実施に向けた市への提言を行う。



施設から地域へをサポートし、一人暮らしを体験できる仕組み作りを目指します。